

議 員 紹 介



原 啓司
日本共産党市議団(2)

★苦小牧市も地域の高齢化が年々進んでおり、高齢者の皆さんが安心して今後も住み続けられるまちづくりは、待ったなしの課題と考えています。町内からスーパーの撤退がある中で、買い物環境をどのように確保するのか、バス路線をはじめとした交通手段の確保の課題も深刻です。いずれの課題も地域の皆さんの声をしっかりと聞いて、具体的提案につなげていきます。

★また、本市は、森と海と湖といった大変豊かな自然環境に恵まれ、貴重な動植物が多く生息する環境もあります。これらをいかした地元産業の発展こそ進むべき道ではないかと考えます。

★人口減少対策は、IR誘致に頼るのではなく、医療、福祉の充実、子育て世代を応援する施策の充実に求めるべきと考えます。任期4年間、全力投球で頑張ります。



藤田 広美
公明党議員団(4)

★副議長就任後、初の定例会に臨み、一般質問の3日目に議長に代わり議事の進行を務め、緊張感のなか取り組ませていただきました。

★総務委員会では苦小牧駒澤大学で外国人留学生別科として日本語教育の実施を質問。中国の高校卒業後の学生が主な対象で、日本語や生活習慣を学ぶ課程として初年度は20人から30人を想定していると答弁。さまざま相談ができる学生のサポート体制を求めました。

★駅前周辺再整備事業で、駅南口から東方向の苦小牧停車場若草道線の利便性から一方通行の規制解消が必要と質問。地元町内会で協議後、規制解消の要望があれば北海道公安委員会に上申すると答弁。

★まちなか居住では歩いて買い物ができるまちづくりが必要として商業施設の誘致を目指す助成制度など検討して、より住みやすい環境整備を提案しました。



触沢 高秀
無所属(1)

★私は、本年4月におこなわれた苦小牧市議会議員選挙において、NHKから国民を守る党の公認候補として立候補し、初当選をしました。

選挙の時の公約はたった一つ、「悪質なNHK訪問員から苦小牧市民をお守りいたします」です。

★この公約しか掲げていなかった私に多くの市民の皆様の投票によって当選させていただきました。

これは、日頃いかにNHKの訪問員が苦小牧市民の皆様に対して悪質な訪問を繰り返しておこなっている、それを証明していると言えるのではないのでしょうか。

★NHK受信料に関して疑問やお困り事などありましたら、お気軽にご連絡をいただきたいと思います。市議として市民の皆様のお役に立てるように誠心誠意全力を尽くします。



牧田 俊之
改革フォーラム(2)

★「プラスチックごみ」海洋汚染の問題となっている「プラスチックごみ」について取り上げました。市では容器包装プラスチックとその他プラ（製品プラ）を分けずに「プラスチックごみ」として収集していること、海洋汚染の原因となっているポイ捨ての防止対策や現状把握について質問。「プラスチックごみ」については市民の分別の容易さ・不適正排出防止の観点で判断していると答弁があり、「ポイ捨て」について監視カメラは効果的だが費用面がネック、当面はパトロールと看板等で意識啓発していくと答弁がありました。

★「広報とまごまい」昨年の12月に示された全戸民間配布に対して、町内会連合会から配布業務に関する要望書が提出されたことを受けて市の考え方や検討の目的について質問し、9月までに判断すると答弁がありました。